

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月22日

協議会名:加西市公共交通活性化協議会

評価対象事業名:地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)																											
<p>加西市公共交通活性化協議会</p>	<p>コミュニティバス「KASAIねっぴ〜号」の運行 6系統                      ・市街地線①②                      ・国正線                      ・九会線①②③</p>	<p>・高齢者、運転免許返納者及び子育て世帯に対する運賃無料化施策の実施                      ・総合時刻表「かさいおでかけナビ」の更新・配布                      ・公共交通総合HP「NAVIGOかさい」の制作                      ・主要バス停、待合所へのデジタルサイネージの設置                      ・小学生を対象としたおえかきバス及び乗り方教室の実施</p>	<p>A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された</p>	<p>【利用者数の目標】</p> <table border="1" data-bbox="1350 437 1682 568"> <thead> <tr> <th>路線</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市街地線①②</td> <td>10,000人 &lt;</td> <td>10,539人</td> </tr> <tr> <td>国正線</td> <td>2,300人 &lt;</td> <td>2,618人</td> </tr> <tr> <td>九会線①②③</td> <td>3,800人 &lt;</td> <td>3,980人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>16,100人 &lt;</td> <td>17,137人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【利用者1人当たりの行政補助額の基準値】</p> <table border="1" data-bbox="1350 612 1682 719"> <thead> <tr> <th>路線</th> <th>基準値</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市街地線①②</td> <td>2,000円 &gt;</td> <td>1,748円</td> </tr> <tr> <td>国正線</td> <td>2,000円 &lt;</td> <td>2,834円</td> </tr> <tr> <td>九会線①②③</td> <td>2,000円 &gt;</td> <td>1,800円</td> </tr> </tbody> </table> <p>利用者数の目標値は加西市公共交通計画の基本理念である「一人ひとりが外出を愉しめるまちをめざして」に基づき、現在公共交通を利用している市民が継続して利用できるサービスを提供する観点から、前年度の利用者数と同等の数値を目標としていたところ、全路線で目標値を達成した。</p> <p>利用者1人当たりの行政補助額の数値については基準値として設定していたところ、国正線が基準値を下回った。ただし、国正線の7:30 東国正発・14:48 イオンモール発の便については年間乗車人数が平均して3~4人で推移しており、同区間を運行している地域主体型交通である「うにバス」と合わせて地域の移動需要に応えることができています。</p> <p>また、高齢者・免許返納者・子育て世帯への運賃無料化施策の取り組みにより、無料化施策導入前は13,000人前後であった利用者数を、23,000人前後で維持することができた。</p>	路線	目標	実績	市街地線①②	10,000人 <	10,539人	国正線	2,300人 <	2,618人	九会線①②③	3,800人 <	3,980人	計	16,100人 <	17,137人	路線	基準値	実績	市街地線①②	2,000円 >	1,748円	国正線	2,000円 <	2,834円	九会線①②③	2,000円 >	1,800円	<p>公共交通総合HP「NAVIGOかさい」と別サイトで運用しているKASAIねっぴ〜号接近情報サービス「#らっきゃ」をNAVIGOかさいに統合することで、公共交通利用者への情報発信の統一を目指す。</p> <p>今後も、ねっぴ〜号国正線と地域主体型交通が連携して、地域の移動困難者の解消に向けた取組を続けていく予定である。また、新病院建設や統合中学校の建設等、新たな都市計画に則した路線案を踏まえつつ、交通不便者への対応を検討していく予定である。</p> <p>引き続き、市内の公共交通を取り巻く環境の変化に対応し、適切なコミュニティバスの路線再編を検討していく予定である。</p> <p>また、基準として設定している利用者一人当たりの行政補助額の数値については、昨今の燃料費・人件費の高騰を加味する前の数値であることから、社会情勢に即した数値への見直しを行う。</p>
路線	目標	実績																														
市街地線①②	10,000人 <	10,539人																														
国正線	2,300人 <	2,618人																														
九会線①②③	3,800人 <	3,980人																														
計	16,100人 <	17,137人																														
路線	基準値	実績																														
市街地線①②	2,000円 >	1,748円																														
国正線	2,000円 <	2,834円																														
九会線①②③	2,000円 >	1,800円																														

## 事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和8年1月22日

協議会名：	加西市公共交通活性化協議会
評価対象事業名：	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>加西市の公共交通は、市のほぼ中央に位置する北条町駅を基点に放射状に広がっており、北条鉄道(南～南東方向)、地域間幹線の路線バス(北西、東、南、西方向)、及びタクシーによる移動手段があります。また、北条町を東西に通じる中国自動車道を利用して、京阪神や津山を結ぶ高速バスも運行されています。これらの交通手段を補完する形で、市内の移動手段としてコミュニティバスも運行していますが、住民の公共交通利用は全体の5%に過ぎず、低水準にとどまっています。一方で、住民の約3割と推計される高齢者(70歳以上)や運転免許を持たない人、世帯に自動車がない人など、自動車を気軽に利用できない方々の日常生活における移動手段の確保が課題となっています。</p> <p>令和5年3月に策定された加西市地域公共交通計画では、基本理念として「皆で協力して創る未来に拓かれた人と人をつなぐ公共交通～一人ひとりが外出を愉しめるまちをめざして～」を掲げ、住民の日常生活における移動手段の確保と地域内の交流促進を目指しています。そのため、計画に基づく施策や事業を実施し、公共交通サービスの向上を図ります。これにより、住民の生活の質を向上させ、地域の活性化を推進することを目指します。</p>